

FEEL Do フォーラム 2026

『ともに考え、ともに創ろう、福祉コミュニティ』実践報告会

1. テーマ

今年も、熊本地震の発生をはじめ、全国各地で水害や土砂災害が頻発し、人々の命と暮らしを奪っています。気候変動の影響が大きく、自然災害の激甚化・頻発化が顕著となる中、全国各地で災害福祉支援センターが開設され、災害時の福祉的支援体制づくりを進めています。また、市町村や地域レベルにおける福祉防災に関しても創意工夫を凝らした取り組みが様々に実践されています。

災害福祉は、平時と災害時の切れ目のない取り組みであり、平時の福祉コミュニティの形成が欠かせないのではないのでしょうか。

FEEL Do フォーラム2026では、「平時からの災害福祉支援体制づくり」と「実践者間のつながりづくり」をテーマに、「平成30年西日本豪雨災害から現在に至る愛媛県における災害福祉支援体制構築の実践と今後」「宮城県や鳥取県における防災マップづくりを通じた支え合う福祉コミュニティづくり」の実践に学びます。

2. 日 時

2026 年11 月 9 日(月) 13時30分～16時15分

3. プログラム

① 開会

② 実践報告

テーマ1:愛媛県の災害福祉支援体制構築に向けた平時からの取り組み

愛媛県災害福祉支援センター センター長 喜安 恒賀 氏

テーマ2:「防災マップ作り」を通じた日頃から支え合う地域づくり

社会福祉法人栗原市社会福祉協議会(宮城県)

地域福祉課 課長 佐藤 一繁 氏

地域福祉係 係長 大川 道子 氏

地域福祉係 主事 佐々木 佳奈 氏

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 地域福祉部 主事 中田 光紀 氏

③ グループに分かれて感想の分かち合い

④ 全体でのリフレクション

各実践報告の振り返り、質疑応答

⑤ FEEL Do からのお知らせ、閉会

4. 開催形式

オンライン(ウェブ会議サービス Zoom を使用します)

5. 参加対象

・社会福祉協議会職員

・地域づくりやコミュニティづくりに携わる方

6. 参加費

1,000 円(1団体につき)

※ご入金期限…お申込日から1か月以内

7. お申し込み

下記フォームよりお申し込みください。

※申込締切…11月4日(水)

<https://forms.gle/BFkvBeB4U4WoryYbA>



8. その他

・後半ではブレイクアウトルームに分かれる予定です。カメラ・マイクをオンにできる環境でご入室ください。

・ご参加いただいた団体・機関の皆様は「一般社団法人 FEEL Do 福祉コミュニティづくり活動応援事業」にご応募いただけます。

※福祉コミュニティづくり活動応援事業…一般社団法人 FEEL Do のメンバー(下記「呼びかけ人」参照)は、福祉コミュニティの形成・再生や災害にもつよい地域づくりを目指す各種組織・団体と連携・協働して、様々な実践に取り組んでいます。皆さまの取り組みを FEEL Do のメンバーがお手伝いすることで、事業の更なる活性化や成果へとつながるよう、費用(謝金・旅費)を補助いたします。

9. 主催・お問い合わせ先

一般社団法人 FEEL Do(担当:菅原)

大阪府大阪市城東区鳴野西 4-9-17-902

電話:080-1811-6568 メール:office@feeldo.org

<https://www.feeldo.org/>

10. 呼びかけ人

栗原 英文 一般社団法人 FEEL Do 代表理事(大阪府)

幸喜 穂乃 合同会社 Happy Joy 代表社員(沖縄県)

佐々木優花 管理栄養士(宮城県)

篠原 辰二 一般社団法人 Wellbe Design 理事長(北海道)

白鳥 孝太 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
鳥取県災害福祉支援センター 災害支援専門官

菅原 清香 暮らしの学びサポートオフィス HumanBeing 代表(宮城県)

千川原公彦 ウェザーハート災害福祉事務所 代表(山形県)

椿原 恵 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会(岡山県)
統括専門員、人材育成・組織体制強化 課長主幹、相談支援体制強化推進室 室長

鳴海 孝彦 八戸学院大学短期大学介護福祉学科 准教授(青森県)

宮道 喜一 NPO 法人まちなか研究所わくわく 代表理事・事務局長(沖縄県)

山下 弘彦 日野ボランティア・ネットワーク 代表(鳥取県)